



陽光

【学校教育目標】 夢をもち 光かがやく中部っ子の育成
～自分だいすき！友達だいすき！中部小だいすき！～

前期後半が始まりました！たくさんの笑顔を見ることができました！

40日間の長い夏休みが終わりました。今日から前期後半の始まりです。みなさんの元気な姿を見ることができ、うれしく思います。夏休みに入る前に、何か一つチャレンジをしてもらいたいとお話をしましたが、何かにチャレンジすることができましたか。前期後半は1ヶ月半くらいしかありません。この短い期間でやり遂げたい目標を立て、その目標達成のために、一步一步進んでいってほしいと思います。

さて、夏休み中に大きな地震がありました。皆さんの家やご家族は大丈夫でしたか。旅行や里帰りをしている時に、大雨や台風などにあった人もいるかもしれません。また、テレビやインターネットで、災害の様子を見た人も多いと思います。そのようなニュースを見て、みなさんはどんなことを感じましたか。

地震や大雨、台風などの災害は、いつ、どこで起こるか分かりません。だからこそ、もしものときに自分の命を守るためには、普段から「自分だったらどうするだろう。」と考えておくことが大切です。避難するときにはどうするのか。家族と離れていたら、どこで会うのか。学校にいるときに地震が起きたら、どうやって自分の身を守るのか。このようなことを普段から考え、友達や家族と話しておくことが、いざという時に自分の命を守る力になります。

また、災害で、苦しい生活が続いている方々がいます。家に住めなくなったり、いつものように学校へ行ったり、仕事をしたりすることができなくなったりしている人もいます。「もし自分だったらどうだろう。」「自分にできることはないだろうか。」と考えることも大切です。

思いやりや優しさは、心の中で思っているだけでも素晴らしいものです。でも、困っている人のために、自分にできることを考え、小さな行動に移すことができたなら、もっと素晴らしいことです。そして、その気持ちを、毎日の生活の中で行動に表していきましょう。毎朝、気持ちのよいあいさつをすること。友達に優しい言葉をかけること。困っている人を気にかけること。相手のことを考えて行動すること。そうした毎日の小さな積み重ねが、いざというときにも、自分や周りの人の命や心を守る力になると思います。

今日から、また学校生活が始まります。みなさん一人一人が、夏休みに経験したことをこれからの生活に生かし、友達と一緒に心を磨きながら、充実した毎日を過ごしていきましょう。

前期後半のスタートにあたって、笑顔になる交流がたくさんありました！

前期後半のスタートの日、各学級では、友達との交流を深める活動が行われていました。1年生では、「なかまさがしゲーム」に取り組みました。「夏休みにおいしかったもの」などのお題について、自分と同じ答えの友達を探して集まるゲームです。子どもたちは教室の中を歩き回りながら、「〇〇の人～！」「わたしも！」と声をかけ合い、笑顔いっぱい交流していました。友達との共通点をみつけることで、新しいつながりを感じることができたようです。また、5・6年生では、「夏休みビンゴ」を行いました。ビンゴカードに書かれた質問について友達に尋ね、当てはまる人をみつけたら名前を書いてもらいます。「扇風機の前で『あーっ』と言った？」「甲子園を見た？」など、聞かれたら思わず笑顔になる質問もたくさんありました。友達に積極的に声をかけながら交流し、縦・横・斜めに名前がそろったときに歓声が上がっていました。夏休み明けは、久しぶりの学校生活に緊張する子どもたちもいます。こうした活動には、友達との会話を通して安心感を高めたり、学級の仲間とのつながりを再確認したりするねらいがあります。子どもたちは交流を楽しみながら、気持ちを少しずつ学校モードへと切り替えている様子でした。

